

# Cabernet Sauvignon 2018

カベルネ・ソーヴィニヨン

樹齢30年のカベルネを使用  
堅牢で厳格。孤高の存在感。



## Technical

- ◆品種構成 カベルネ・ソーヴィニヨン91%  
メルロ9%
- ◆収穫日 2018年10月22～23日
- ◆畑 立道畑（X棚、樹齢30年）及び水上畑（スマート  
・マイヨルガー、一文字短梢、樹齢5～8年）
- ◆アルコール度数 11.4%vol.
- ◆総酸度 5.3g/L（酒石酸換算）
- ◆pH 3.40
- ◆樽比率 100%（内新樽率46%）、11ヵ月熟成
- ◆生産本数 1337本
- ◆クロージャー コルク（DIAM10）
- ◆瓶詰日 2019年11月22日
- ◆発売開始日 2020年12月21日

## WineStory

18VTの7月はほとんど雨がなく、乾燥した暑い夏でした。カベルネのヴェレゾン(実が色づく頃)は例年以上の速さで、どんなVTになることやら…。他のカベルネが色づくに苦戦する中、樹齢30年を越す古木の区画だけは品質の高いものが収穫でき、普段以上に古木の存在感の大きさ、安定感を実感した年です。僅かなメルロをブレンドすることで、ややフレンドリーな印象になったようですが…、まだまだ飲み頃までは時間が掛かりそうです。カシスリキュールなどの濃い目のベリー系の香りが樽由来のロースト、バニラの香りと混然一体となり主張します。堅牢なタンニンに支えられて、まだまだ熟成するでしょう。暫く空気に触れさせることで、優しくなります。すぐに飲む場合はは開くまで気長に待ってください。

## TechnicalSupplements

この畑はYメルロでも使用した義男お爺ちゃんの管理する古木の区画です。約15aから生まれるカベルネは13～15VTまでは主力でした。16VTから新しい区画のカベルネの比率が上回り始め、ここにきて2VT振りに主力に再び咲きました。選果を徹底し、一つの茎さえ混入のないキャビアのようなタンクを、4日間ほど低温浸漬しました。ゆっくりと立ち上がる酵母を使用し、抽出は穏やかに行っています…。が、しっかりした酸味、タンニンは厳しい年でも健在で、堅牢さは変わらずでした。いよいよブレンドしようと思っても、中々良い組み合わせがなく、まるで寄せ付けません。何回かの試験でわずかにアメリカンオーク貯蔵のメルロをブレンドし、程よく解れた感じがします。とはいえ、ガッチリしてますので、打ち解けるまでは時間が掛かるかもしれません。



ウッディファーム & ワイナリー

(有限会社 蔵王ウッディファーム)

〒999-3212 山形県上山市原口829

Tel 023-674-2343 Fax 023-677-2020

